

人の動き

世帯数	2,827
人 口	11,489
男	5,652
女	5,837
2月末住民登録人口	

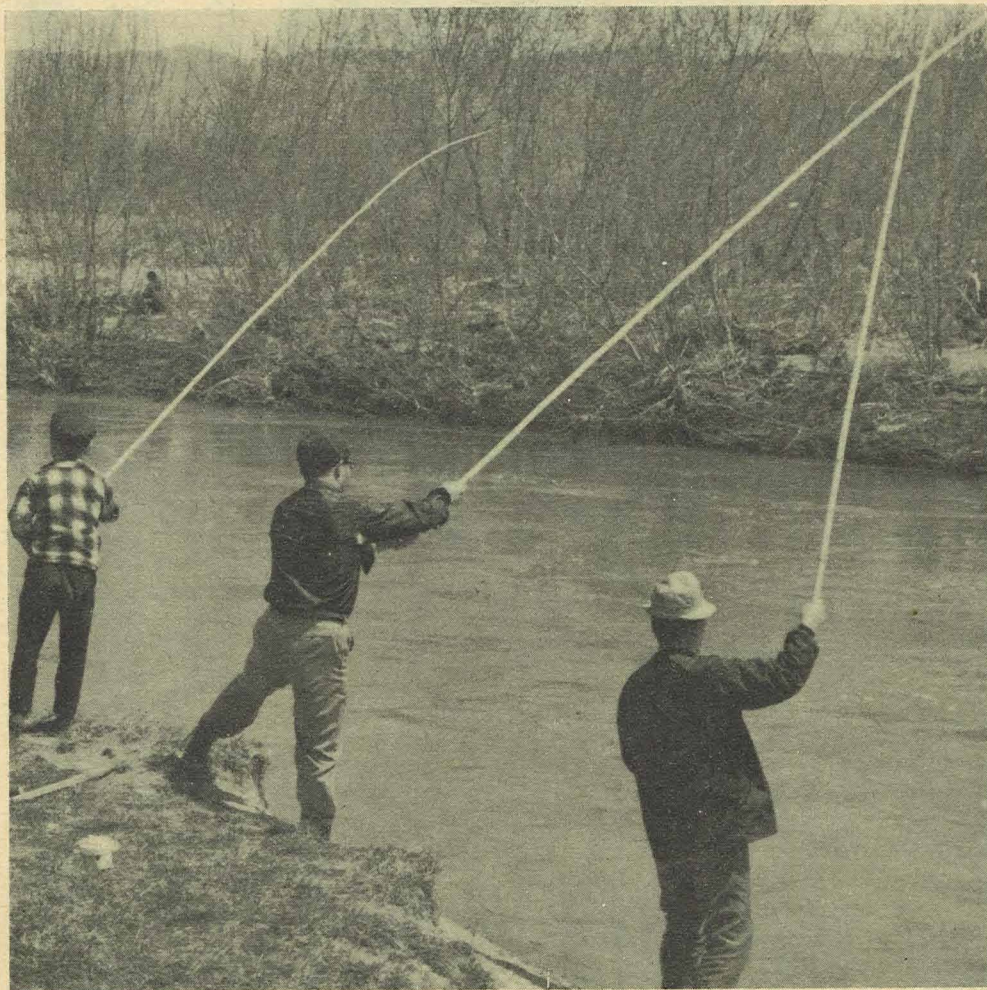
発行 佐呂間町役場

44.4.5発行

No.139号

印刷 佐呂間印刷

春を呼ぶ魚つり



四月の声を聞くと、さるまの春もすぐそこまでやって来ている。
川辺では早くも春を告げる魚、あかはら釣りに余念がない。

堤防のむこうの農家では土や堆肥をもって、せつせと畑の残雪の上のまいて人工融雪をしている。

今年の長期予報が発表になったが、あまり期待をもてそうでもないが、やるだけのことはやろうという、いわゆる人事を尽して……の心境。

二月一日現在の乳牛は六四六三頭となり着々と目標どおりの多頭飼育に移行しつつある。

客月来牛の流感が発生しており、これの防疫対策に関係機関は種々頭を痛めております。飼育者の皆さんも指示されたとうりの消毒や牛舎の掃除などを励行しまた戸別の訪問もさけて、これ以上蔓延しないようにお互に気をつけよう

定例第一回町議会

畑地総合土地改良事業

若佐地区簡易水道 町税々率引下げ

町長 施政方針説明



新年度施政方針を説明する町長

盤の確立であり、これが実現のためには常に民意を中心とした新鮮で創造性に富んだ廉価な行政の執行に務め住民の信託に応えんとするものであります。

今や国際経済は漸次貿易の解放、資本及び技術の輸出入等自由経済に移行しつつあります。

昭和四十四年度各会計予算の提案に当り、町行財政に対する施政方針と提案予算の概要及びこれ等に関連する諸条例の改正等について所信を申し上げます。町政執行の基本方針は今更申し上げるまでもなく、地域産業の振展を策し教育の振興に務めるなど豊かな民生が強力に展開される基

礎としてこの影響は特に脆弱性を包蔵する一次産業に多く、その対応措置として基盤の強化が必要に迫られております。また、関連して国内工業生産の成長に伴う労働力の供給は農漁村社会に多くを求められ、何れの地域においても人口の過疎現象を示し、これが対策、更に産業後継者を含めた地場産業人の育成確保が今後の自治行政に負荷された新たな大きな課題であります。

財政支出は年次累増を求められ

つ、ありますが、自主税源は依然として伸び悩みを続け、地方交付税に対する依存度を高めつつある現況であります。

かような厳しい状況下で然も極限された財源の高率化を図りながら予算の編成に務め、なかでも特に産業の振興、教育施設の整備、生活環境の整備、道路網の整備に配意した次才であります。

以下各項別に申し上げますと

農業

継続中の国営直轄明渠排水事業の推進と、新たに道営畑地帯総合土地改良事業佐呂間地区の着工を始め新規浜幌地区の調査実施、第二次農業構造改善事業の着工、酪農近代化計画の推進等の生産強化対策、更には農業団体等の統合を機会あることに強調し、もって各団体の活動機能を高めより一層の生産性の向上と指導強化、産物の消費対策、或は金融等の積極的施策に依る農家経済への寄与を期待致す次第であります。

当初予算比較 (単位千円)

会 計 別	当初予算額		割合 A/B %
	43年度 A	44年度 B	
一 般 会 計	274,686	391,324	42.5
国 保 会 計	42,267	91,688	116.9
町 有 林	15,247	39,138	156.7
佐呂間簡易水道	6,364	6,887	8.2
浜佐呂間簡易水道	2,006	2,187	9.0
屠 場	3,368	3,731	10.8
富富士簡易水道	141	671	375.9
通学自動車	335	535	59.7
計	344,414	536,161	55.7

林業

については、団地造林制度の活用に務め林種転換を促進し優良林分の形成と既住の造林地の一斉点検を森林組合とともに実施し指導強化に務めると共に、特に町内林業界の経済動向は広く町民経済にも影響している現況に鑑み経営資金の融通措置については前年の計画を継続し経営安定を助長致したい。

水産業

については、構造改善事業の継続実施による浅海養殖事業の基盤整備を促進し、背面施設の整備については浜佐呂間漁港の改良工事、富富士若里港の四次整備計画への採択促進、更に漁免道路の計画に配慮し、基本施設の整備に務めたい。

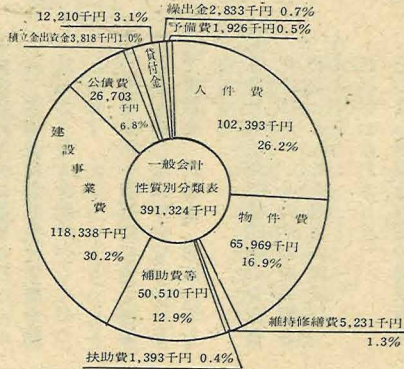
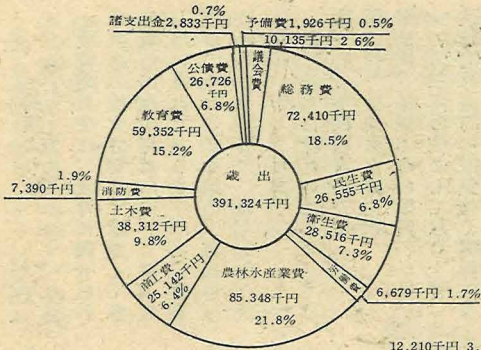
尚、昭和四十一年～昭和四十三

年に至るサロマ湖の大規模浅海漁場開発事業調査の結果に基づき関係町村とともにサロマ湖の活用について具体的な検討をすすめたい

中小商工業 については、多年要望のあった商工会館の建設を計画し、道費補助、商工会負担金に町費壹千円を助成し広く一般団体等にも利用せしむる様配意し、又商工資金の融通については前年同様措置し経営の安定を助長致したい。

教育施設 については、五ヶ年程度の整備計画の樹立を検討中であるが、昭和四十四年度より始まる文部省の長期計画を充分勘案して最終決定を致したい。

当初予算の提案に当り仁倉、栄小学校改築費は一応財源保留の上



未提出であるが二校に
対する助成確保に務め
次期議会に提案を配慮
中である。

教職員住宅の整備に
ついては、既往計画を
年次的に予算化し若佐
地区水泳プールについ
ては若干小型ではある
が幼児プールをも併設
し実現を図りたい。

道路網

の整備については、国
道、道々の整備促進に対応して町
道の改善を策し、別途町道整備五
ヶ年計画を樹立しその遂行に務め
たい。

なお、開発局管理に係る栄、安
国間の改良舗装については、大成
部落全域がほぼ舗装完了予定、ま
た、栄、瑞穂間の一部舗装、若佐
端野線の開通が実現をみる予定に
なっており、道々浜佐呂間・佐呂
間線は仁倉橋の架替えを含め十四
号線までの整備が完了する予定で
あります。

生活環境整備 について項目別に
申し上げますと、

- 1、佐呂間火葬場を近代化し他の
火葬場を断次吸収致したい。
- 2、若佐簡易水道の新設着工
- 3、無水農漁家の解消については
条適用地区については殆んど
完成をみるに至り、条外地区
については厳密な審査を了し事
情止むを得ざるものに対し予算
措置のみで助成を致したい。
- 4、市街地域のじん芥処理につい
ては、既往の措置に改善を加え
不更を一掃するよう配慮致した
い。
- 5、西富公住団地における排水整
備については、本年度完了致し
たい。

最後に住民負担の軽減措置であ
りますが、固定資産税率の引下げ
及び町民税の控除引上げと税率の
引下げによる減税額は約五百六十
万円の見込みであり又、PTAの

負担軽減についても理論的な部面
については、若干ではあります
措置をした次第であります。

以上の才出、才入は、三億九千
零百参拾貳万四千円の前年当初予
算に比し約二八%の増額であり、

前述の小学校二校改築費六千参百
八拾万円を加えると四億五千余万
円、年度当初の総合予算額五億参
千六百拾六万零千円に達し開町以
来の大形予算となりましたが、前年
度、町長選挙施行により差控えた
事業財源の繰越等により一部予算
外義務負担が伴いますが、極力財
政の健全化に努め、計画の遂行
を図りたい所存であります。

特別会計について
A町有林会計
町有林の管理運営については企業
性に配慮し、一面財産造成に努
め、特に本年は第三期森林施業計
画の初年度でもあり本計画の遂行
を図り成果の高揚に努力致したい
Bと場合会計について
現行設備においては、需要に對
処することが困難な状況にあり、
従って用水の確保、ろ化、沈澱、
排水等の施設の改善を企図し次期
議会に提案を致したい
C国保会計について
相次ぐ医療費の増高により前年
対比六百万円(調定額)の増税を
余儀なくし、更に本年度医療単価
の改訂等が行なわれる状況にあり
これ等については特別措置として
一般会計で補填措置を講じたい。
尚、昭和四十三年度暫定措置とし
て、廃止した納税報償金について
は、強い意向もあり納税率の向上
を図り三%の交付を致したい。

学力の向上を目標に

学校教育社会教育の充実

健康増進にスポーツ振興

教育長 所信表明

教育委員会として本年度推進い
たしたい教育行政の基本的な執行
方針を申し上げます。
民主的で文化的な郷土の建設も
豊かな人格形成もその根幹は教育

の力にあると思います。したがっ
てこれが実現には、学校教育の水
準向上、教育の機会均等と社会教
育の充実にありと信じております

前葉より

教育委員会は、教育に課せられた使命の重大さを深く認識して意を新たに次の諸点について努力致したいと考えておりますので、議員のみなさまを始め、町民各位の御理解と御協力、御支援を心からお願い申し上げます。

まず基本目標といたしましては
第一に、学校教育の充実
第二に、社会教育の強化
第三に、保健体育の振興
この三本の柱として取り上げ、

系統的計画的に根強く実行に移し、他の行政との調和を図りつつ、能率的に諸行事を進めて参りたいと思ひます。

第一の「学校教育の充実」であります。学力の向上を最大の目標として、

1 学校長を通じて、教職員とともに児童生徒が自ら学ぶ学習体制を確立することにとめる。

2 教職員の自主的な教育研究活動を助長し、その資質と指導力の向上にとめる。

3 文教施設の整備と教材教具を充実し、学習活動の向上にとめる。

4 教育の機会均等にとめる。

5 学校行事等、経費の公費負担を行ない父兄の負担軽減にとめる。

第二の「社会教育の強化」であります。町民が自ら地域の問題を発見し解決する学習活動や団体活

動を助長するために、学習の場の提供、学習のための指導助言にとめる。

① 青年教育、本町青年に対し後期中等教育の充実を図る。

② 産業後継者の育成教育の充実を図り、町産業発展の基調の助長にとめる。

③ 婦人教育の充実強化をはかり、婦人の資質の向上にとめる。

④ 家庭教育学級の重要性にかんがみ、各地域に家庭教育学級を開設し、よりよき家庭づくりにとめる。

⑤ 公民館活動を積極的にすすめるとともに、町政に「マツチ」した講習会、研修会、懇談会等を開設する

⑥ 各種社会教育関係団体の育成強化をはかり、その活動を充実させるとともに指導者の育成にとめる。

そのうち産業後継者の養成教育に特に配慮をしていきたいと思ひますが、ひとえに町民各位の積極的意欲と協力がなければその実績をあげることができませんので、関係機関及び関係団体のご協力は勿論、町民各位の絶大なるご理解とご協力を期待するものであります。

第三の「保健体育の振興」であります。町民の健康増進は衛生思想の普及と相俟って、スポーツによる体力の増進と食生活の改善とが一体とすることにあります。

これ等については、年次的に逐次充実をはかっていきたいと考えております。

① スポーツ振興を通じ、青少年の健全育成と健康で明るい町づくりを推進する。

② 学校給食による学童の体育の向上、体質の改善をはかるとともに学校給食を通じて全町の食生活改善をはかるため、町民並びに関係者の納得を得て、明年度頃の実施できるよう推進にとめる。

③ スポーツ教室の開設、スポーツ少年育成など、町民の体力増進にとめる。

④ 人命尊重を基調とした安全教育の普及徹底をはかり、交通事故などの災禍防止にとめる。

以上簡単であります。教育委員会として本年度推進したい教育行政の執行方針の概要を申し上げましたが、限られた予算額とわずかの職員でありますので、充分な期待に副います。これらの施策の実施にあたっては、更にきめ細かい、かつ謙虚な姿勢をもつて臨む所存であります。特段のご理解とご協力、ご支援をお願い申し上げます。

修めた学を技術で

経営面へ

佐呂間農業学園

第三期生卒業式



先月二十一日、佐呂間農業学園第三期生の卒業式が行なわれました。現在まで三回卒業生を出しており、総数六九名（男四二名女二七

）で、それぞれ町に残って自家農業の営農にのりだしています。当日午後一時から、関係者の参列を得て行なわれましたが、卒業生一四名、ひとりひとりに学園長から卒業証書が手渡されました。来賓祝辞のあと、在校生の山本真理子さんの送辞があり、これに答えて卒業生代表の川尻久樹君の答辞が力強くのべられ、最後に全員で螢の光を合唱し式を終りました。

地域の声を道政へ

全道モニター会議

久米田鶴夫氏出席

広く地域住民の声を政治に反映させる。これは、町政、道政を問わず政治を司どるものにとつての基本的な考え方であり、道ではかねてから道政調査員制度を設けて、各地域の住民の声を聞いておりますが、網走管内でも各町村一人ないし二人あて調査員が委嘱されており、会議の都度意見の取りまとめをしております。今回はそれ等を集約して全道モニター会議を開催しました。管内からは、当町の久米田鶴夫氏が代表して出席したもので、町内的な視野から更に管内的、全道的な視野に立っての道政への要望で知事等と直接意見の交換をしました。現在までのモニター会議の要望事項は逐次実現されつつあります。

大きな期待を担って

社会へ巣立つ「金の卵」

中卒就職者激励会



三月の柔かい日差しの朝、今年も中学卒業の社会人一年生が、多くさん巣立っていきます。

今年の卒業者は全部で三三〇名おります。この中、進学が二四〇名、就職一六名（未定七）で町

の多用はさけること。

②健苗育成につとめること。

③品種は、中生を中心として耐冷品質の良いものを選ぶこと

④作業は計画的に早目に行なう。

甜 菜

①紙筒移植によって増収を図りましょう。ハウス育苗は温度管理が大切で、高温にならないように注意して下さい。

②間引は早目にはじめて二〜三回で終るようにする。

③育苗後半は灌水量を少くして、丈夫な苗を作ること。

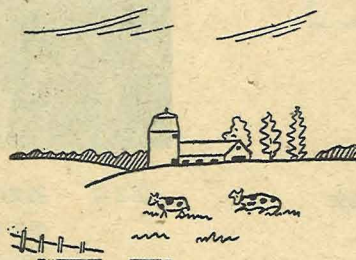
④育苗期間は三十日程度として、遅れない様に本畑の準備をする

⑤高畦栽培をしましょう。

畜 産

草地管理 四月上旬で殆んど融雪されるところだが排水不良で滞水しやすい処は、小さな暗渠をつくり地温上昇に努めよう。牧草地

普及所だより

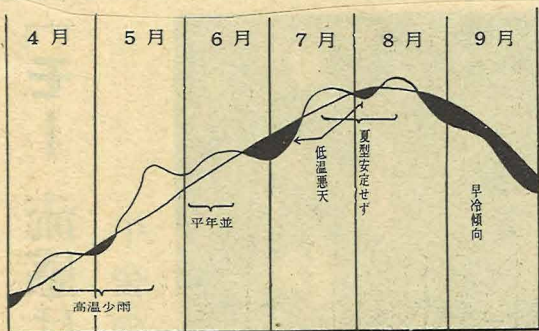


今年の暖候期予報が、三月十日付で発表になりました。

五月六月は好天ですが七、八月に一時低温があり、秋も早く昨年より不安定と言われていますので今年の営農に当っては充分に注意をして下さい。

水 稲

①収量目標は高望みをせず、施肥量も基準を守り、チツソ質肥料



こと。化成なら一〜二袋は施して

今年は完全自給出来る様に面積を確保して下さい。成牛一頭当り高収量でも五〇アールは必要です。低収量の処は六〇〜七〇アールは確保し年々少ない面積で飼養出来る様収量増加に努めて下さい。

乳牛管理 今月は舍飼いから野外へと移行する月で、然も放牧にはまだ早く餌の端境期で、やゝもすると栄養不足で病牛などの発生しやすい月ですので、粗飼料の不足は濃厚飼料で補い、カビや腐敗気味の飼料は与えない様にして下さい。又、流感牛、はじめ皮膚病その他病牛は完全治療に努めて下さい。流感は全町的に伝染していますので消毒は一週間に一度は励行して下さい。消毒の際は牛舎内外をきれいに掃除してから行なう

交通規制が

出来ました。

り 天光堂横三叉路

現在、町内の交通規制は若佐、佐呂間市街に四〇軒制限が二ヶ所ありますが、今度、大通り天光堂横（富武士方面よりの三叉路）に新しく「止まれ」の交通規制が出来ました。

役場のほうから大通りへ出る車は必ず一時停止をしましょう。

（先づ「標識」をみてから発進しよう）

全道優良クラブ

知事表彰受ける

幌岩4Hクラブ

佐呂間町農村青少年の幌岩4Hクラブ（会長齊藤光則）が全道優良クラブとして知事表彰を受けました。

幌岩4Hクラブは、会員一八名で昭和三十一年に設立されて以来酪農、畑作、生活改善など地域の問題を取上げ活発な研究活動を続けておりましたが、これが認められたものです。

この受賞を機会に、更に発展していただきたいと思ひます。

町 政 日 誌

3月3日 社会文教委員会 町長上京

6日 仁倉集団化推進委員会
選挙管理委員会

7日 地区畑地総合土地改良期成会役員会

8日 地区労組協議会との話し合い
管内教育長会議
畑綜部落懇談会(富丘、朝日地区)

9日 勤労青少年研修講座

10日 月例出納検査(町監査委員)

12日 第1回定例町議会(20日まで)

14日 農業基本調査結果表審査(支庁)

18日 新中就職者激励大会

20日 佐呂間保育所卒園式(写真)



22日 農業学園修了式
牛馬籍廃止団体長会議
畑綜部落懇談会(武士地区)

24日 農政推進会議

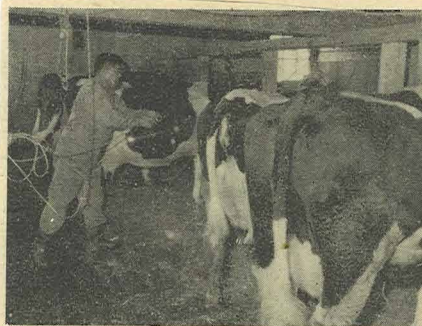
25日 酪農集落戸別調査

26日 商工会青年部と懇談会

27日 教育指導打合せ会
町内校長会教頭会

29日 転員研修会(道新論説委員講演)

31日 社会教育委員会



牛の流感発生に日夜消毒に廻る防疫班

牛の流行性感冒は二月八日発生以来現在(三月二十四日)まで四戸、四八六頭と遂次未発生部落にまん延していますので、今後一層次のことに注意し、発生とまん延防止に御協力下さい。

予防のため是非守っていただく事

- (1)他人を牛舎に入れないこと。
- (2)犬猫等を牛舎に入れないこと。
- (3)飼養管理は特定の人が行ない作業衣はカッパ等を使用し消毒をして行なう。

「モー 流感はいやだ」
牛舎の消毒を続けよう

(4)牛舎の消毒は一週間に一度は必ず行なうこと。
(5)牛舎の出入口に踏込消毒盤を置き消毒を必ず行なうこと。
(6)牛乳缶の消毒を毎日励行すること。

(7)部落内の集会は、流感が遂次まん延しているのでなるべくさけること。

部落名	発生戸数	発生頭数
共立	五戸	五一頭
大成	三月八日一頭死亡	八九
栃木	三	三〇
中園	三	三三
武士	四	四六
朝日	六	七〇
富丘	一	一三
西富	三	五一
北	二	一六
富武士	五	四九
知来	三	三八
計	四四	四八六

内 快復頭数は五十頭です。

昭和四十三年度生活環境浄化優良団体として次の二組合が網走支庁長賞を受けました。

生活環境浄化実践

優良団体 浜佐呂間衛生組合
努力団体 佐呂間市街衛生組合

地区労と町政に

ついて懇談会

町政に対しての要望、意見等集約するため、いままで各部落懇談会を行なってきたが、先月（八日）佐呂間地区労組協議会の代表一〇名と町政についていろいろ話し合いをしました

要望意見として多くさんだされましたが、結論の出たもの、なお検討を要するもの等あり、今後の行政面の課題として処理されます紙面の都合で主な項目のみ掲載します。

＊保育所の施設拡充について
保母の増員、待遇、遊び施設の

拡充、4才児の増学級等

＊若佐地区プールの新設

＊商工労働会館の建設

＊児童遊園地の整備拡充

＊町道の砂利撤布

＊じん芥処理について

＊側溝改修について

＊給食センター建設

＊教員住宅について

＊町民税の減税について

教員人事

転出

前田勇三郎 常呂小 池田信義ウ

トロ小 西町芳則 別海村新興小

梶田正春 砂川市豊沼小 神山正章

津別小 石田信夫 網走小 上杉

十三郎 佐呂小 山口光友 呼人小

堀 邦彦 清里町新栄小 近藤保

置戸町秋田中 三井正文 端穂中

鈴木茂男 美幌中 前田ミサ 浜

佐小 伊 藤勝 網走市藻琴中 塩

村俊一 丸瀬布中 重成スミエ

網走市嘉多山中

◎校長 山本利規 紋別市沙見中
平方昌一 瀬戸瀬中

町政について地区労代表と話し合う町理事者

役場人事

四月一日付で分掌の異動があり次のようになりました。なお今回一課（税務課）を消滅し財政課に包含して五課とし、新たに課長補佐制度をもうけました。

総務課長を命ずる

田中 好一（民生課長）

民生課長を命ずる

幸松 良茂（総務課長）

議会事務局に出向を命ずる

田川 敏之（税務課長）

総務課長補佐兼務を命ずる

藤岡 正重（庶務係長）

財政課長補佐兼課係長を命ずる

市川 弘（保健衛生係長）

産業課長補佐兼務を命ずる

相沢 武（畜政係長）

民生課長補佐兼務を命ずる

中村 一雄（住民係長）

総務課青少年交通係長を命ずる

矢口 豊一（教育次長）

民生課保健衛生係長を命ずる

小池 栄（議会事務局）

財政課徴収係長を命ずる

越智 義勝（税務課）

財政課管財係長を命ずる

川滝 寛（徴収係長）

教育委員会出向を命ずる

宮田 憲彦（財務係）

農業委員会出向を命ずる

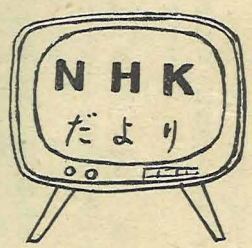
有光 乙二（保健衛生係）

総務課庶務係を命ずる

鈴木 一郎（農業委員会）

財政課財務係を命ずる

安藤 雄次（教育委員会）



テレビでテレビの 修理法を教えます

NHKでは四月七日から七月三〇日まで五〇回にわたって、「テレビジョン技術」を教育テレビで放送します。この講座は、実際にテレビの修理や販売に従事するかたはもちろん、自分でも考えておられるかたにもご利用いただけます。

新しい番組続々登場

総合テレビ月曜日～金曜日よる九時～九時三〇分まで多彩な娯楽番組を放送します。

財政課課係を命ずる

宇佐美不二夫（庶務係兼広報統計係）

民生課保険衛生係を命ずる

大沢 孝司（畜政係）

工管課土木係を命ずる

海老名 登（浜佐呂間駐在）

総務課庶務係を命ずる

清原 伸一（賦課係）

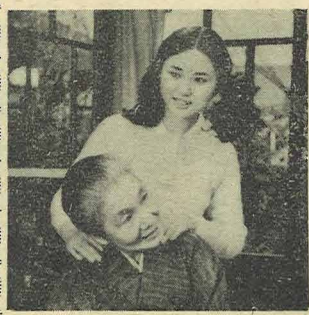
総務課庶務係を命ずる

杉野 孝子（賦課徴収係）

財政課課係兼徴収係を命ずる

黒瀬 幸子（庶務係）

総務課青少年交通安全係を命ずる



林 登和子（庶務兼広報統計係）

財政課課係を命ずる

十亀 伸（税務課）

財政課徴収係を命ずる

寺本 稔（税務課）

総務課課係兼広報統計係を命ずる

高瀬 栄子（広報統計係）

産業課畜政係を命ずる

上高 邦俊（新採用）

総務課広報統計係兼庶務係を命ずる

内海みづほ（新採用）

教育委員会出向を命ずる

玉井 清（賦課係長）

楽作品がぞくぞく登場します。
第一作（四月七日～十八日）「一の糸」で主演に佐久間良子、佐藤慶
第二作（四月二十一日～五月九日）「天使の羽根」で主演は長谷川明男、新藤美恵
第三作（五月十二日～五月三十一日）「女僕わが道」で主演は林美智子
第四作（六月二日～六日）「速歩自源流」で主演フランキー堺（信子とおばあちゃん）

くらしのヒント



家の内外を清潔に

長い冬からさめ、ようやく春らしくなってきましたがそこで目につくのが冬の間家のまわりに無意識に投げていたゴミの山です。

木のクズやゴミは焼き、炭クズやアクは一ヶ所にまとめるか又は水たまりを埋めるのに使います。家の陰に積っている雪もくずしてとけやすくし、花壇の柵や柵の破損している所を直しペンキを塗っておきましょう。窓をおおっているビニールをはずし一諸にガラスも磨いて太陽の光がいっぱい入るように工夫します。家族みんなでもう一度家の中や外を見まわして明るい清潔な住い作りをいたしましょう。

米の配給制度が四月一日から変わりました

米穀の配給改善について、かねてから需給緩和の状況に即応して検討が進められておりましたが、この程、次のように改善されました。

せっけん売場は花盛り

デパートなどの最近の石けん売場には、きれいでかわいらしい石けんが多くさん並んでいます。売れ行きも確実にのびて、一般化粧石けんも三十円の商品から五十円の商品へとというふうに消費者好みが変わってきているそうです。

石けんは、メーカーはちがっても原料は同じなので、したがって品質にはあまり大差はないようです。ですから、各メーカーとも消費者の使いごちに苦勞していません。殺菌剤や美容成分を入れて特殊性をもたせるとか、色と形と香料、パッケージなどにくふうをこらしています。

ところで、石けんの消費量は国民一人当たり毎年二十グラムの割合でふえています。アメリカの一人あたり年間消費量一五〇グラムにくらべたら、日本人は約半分の八三〇グラムだということですから、せいで石けんを使ってお肌をきれいにして下さい。

改善された事項

消費者は同じ市町村内なら米穀購入通帳を示して、どこかの米屋からでも米を買うことが出来る。

配給数量が一人一月当り十五キログラムに増配になります（現行一〇キログラム）

水灯吟社「雪解、残雪、春を待つ題」

残雪や離農部落の校舎閉す

春を待つ観光バスに旅心

花畑の残雪除けを日課とし

雪割れば春待ち顔の露のとう

雪解けの去年の思いよ福寿草

眺めきて縁がわに立ち青を待つ

山いまだ覚めず残こんの雪厚く

水塊の点綴浮きて蒼き海

老漁夫の網や背の子も春を待つ

残雪に憧なす中洲に鳥の群れ

春灯に吾子らの話尽きるなし

残雪に牛流感のほしいま

胎教の美を語り合い春を待つ

雪解路に合格の明暗分れ立ち

陸奥の見知らぬ道を一人歩む半ドンあけの転た寝の夢

習いごと終えて帰りの流れ星願いをかける暇もなく消ゆ

疲れたる我がまなざしの奥深くとある記憶の脈膊を聞く

冬山の絶唱聴きつ我れの追う空想なべて木霊短かし

嫁ぐ日も定まりて孫が来りけり失う如く淋しきものを

やわらかき春の日射しに福寿草黄色き花を水のほとりに

太田 喜堂

橋本 そよ風

井上 民子

島村 秀哉

高橋 久逸

矢口 斗洋

中村 黎容

寿子

孔

喜堂

そよ風

寄附

社会福祉協議会へ

壹万円也

亡母（貞衛）香典返しを廃して

知来 黒岩 健也 殿

五千元也

亡妻（サダ）香典返しを廃して

永代町 今泉 武吉 殿

八千元也

亡父（信一）香典返しを廃して

川西 行元 忠雄 殿

五千元也

妻（はるみ）病氣全快祝を廃して

富武士 齊藤 公彦 殿

参千円也

病氣全快祝を廃して

若佐 畑 勝治 殿

五千元也

亡母（キタ）香典返しを廃して

仁倉 山下 栃谷 殿

参千円也

亡父（多七）香典返しを廃して

西富 吉田耕太郎 殿

参千円也

長女（京子）全快祝を廃して

武士 山腰 博 殿

老人クラブへ

五千元也（知来老人クラブへ）

知来 黒岩 健也 殿

訂正

先月三月号の寄附の欄で、武士山腰京子さんより全快祝として福祉協議会へ寄附を戴きましたが、当係が香典返しとして誤謬印刷を致しましたのでお詫びがたがた謹んで訂正致します。

編集室

大巾な人事異動で各係とも新しい人になり、新年度の仕事が始まった。五億の大会のつた予算も要望、懸案事項が多くて仲々万度に廻らない、より効率的な運営に現状では頭が痛い。住民各位のご協力を望みます。

五千元也（さろま老人クラブへ）

永代町 今泉 武吉 殿

五千元也（さろま老人クラブへ）

西富 岸本 利吉 殿

参千円也（若佐老人クラブへ）

川西 行元 忠雄 殿

壹万円也（仁倉老人クラブへ）

離町に当り

仁倉 津田 幸雄 殿

壹千円也（仁倉老人クラブへ）

仁倉 大門 和光 殿

町内小学校へ

手縫い雑布一〇〇枚

川西 高橋 トリ 殿

身障者分会事業資金として

貳千円也

宮前町 井上美代子 殿